

経済社会システム変化のダイナミクスと

経済学部の役割 (要約版)

2019年11月9日(土)

柑芦会 東海支部総会にて

和歌山大学 経済学部 教授、学部長、経済学研究科長
大阪大学 経済学部 数理・データ科学教育研究 招聘教授

マグレビ・ナビル

Dr. Nabil Maghrebi

< 自己紹介 >

・出身地 : チュニジア共和国

・略歴 :

- ・1988年、日本の国費留学生として来日
- ・1989～1991年、和歌山大学・経済学部・大学院(学生)
- ・1991～1996年、大阪大学・大学院・博士課程(学生)
- ・1996～現在、和歌山大学(教員)
- ・2019年4月～、和歌山大学・経済学部 学部長



・研究テーマ : 国際金融市場・金融安定性・市場ボラティリティ・イスラム金融

・取得学位 :
・カルタゴIHEC大学(チュニジア) 管理修士
・和歌山大学 経済学修士
・大阪大学 経済学博士(金融)

< 本日のテーマ >

- ① 経済社会システム変化のダイナミクス
- ② 教育システムの対応
- ③ 経済学部の役割

① 経済社会システム変化のダイナミクス

○ 企業成長・競争力・トップ企業ランキング

・日本には、世界的に見ても「長寿企業」が多い

・世界第1位:金剛組(創業・1441年)、第2位:法師旅館(同・1301年)

・一方で、「企業成長力」や「競争力」では海外企業には遠く及ばない

(1) 「収益力」世界ランキングにおける日本企業の数 :

- ・2001年 … 2社(第9位:三菱商事、第10位:トヨタ自動車)
- ・2016年 … 1社(第8位:トヨタ自動車) ※中国企業が躍進
- ・2019年 … 1社(第10位:トヨタ自動車) ※GAFAが上位に

(1) 「時価総額」世界ランキングにおける日本企業の数 :

- ・2007年 … 1社(第7位:トヨタ自動車)
- ・2019年 … 0社(トヨタ自動車は第43位) ※GAFAが上位占拠

・トップイノベーション大学の数でも日本は取り残されている(ローター社調査)

・第1位:米国(46大学)、第2位:ドイツ(9大学)、第3位:フランス(8大学)、
第4位:英国・韓国・日本(6大学)、第7位:中国(4大学) …

・今後の国別GDP(対PPP)順位は、激しく入れ替わると予想されている

- ・2016年 : ①中国 ②米国 ③インド ④日本 ⑤ドイツ ⑥ロシア
- ・2050年 : ①中国 ②インド ③米国 ④インドネシア ⑤ブラジル

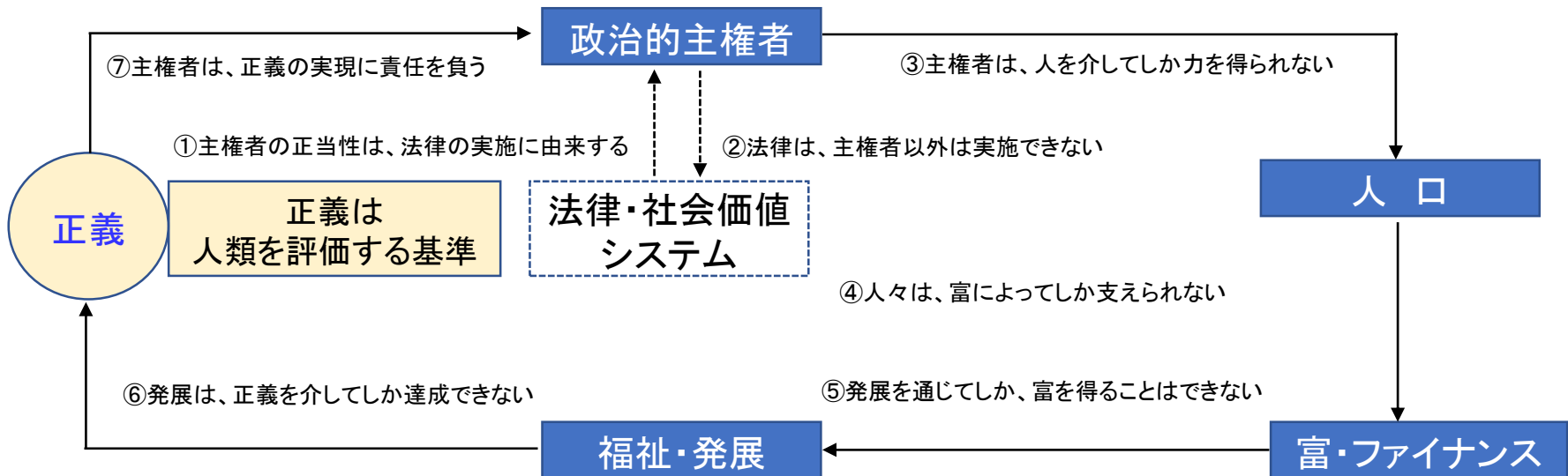
② 教育システムの対応

1. 社会科学・経済理論と科学発展モデル :

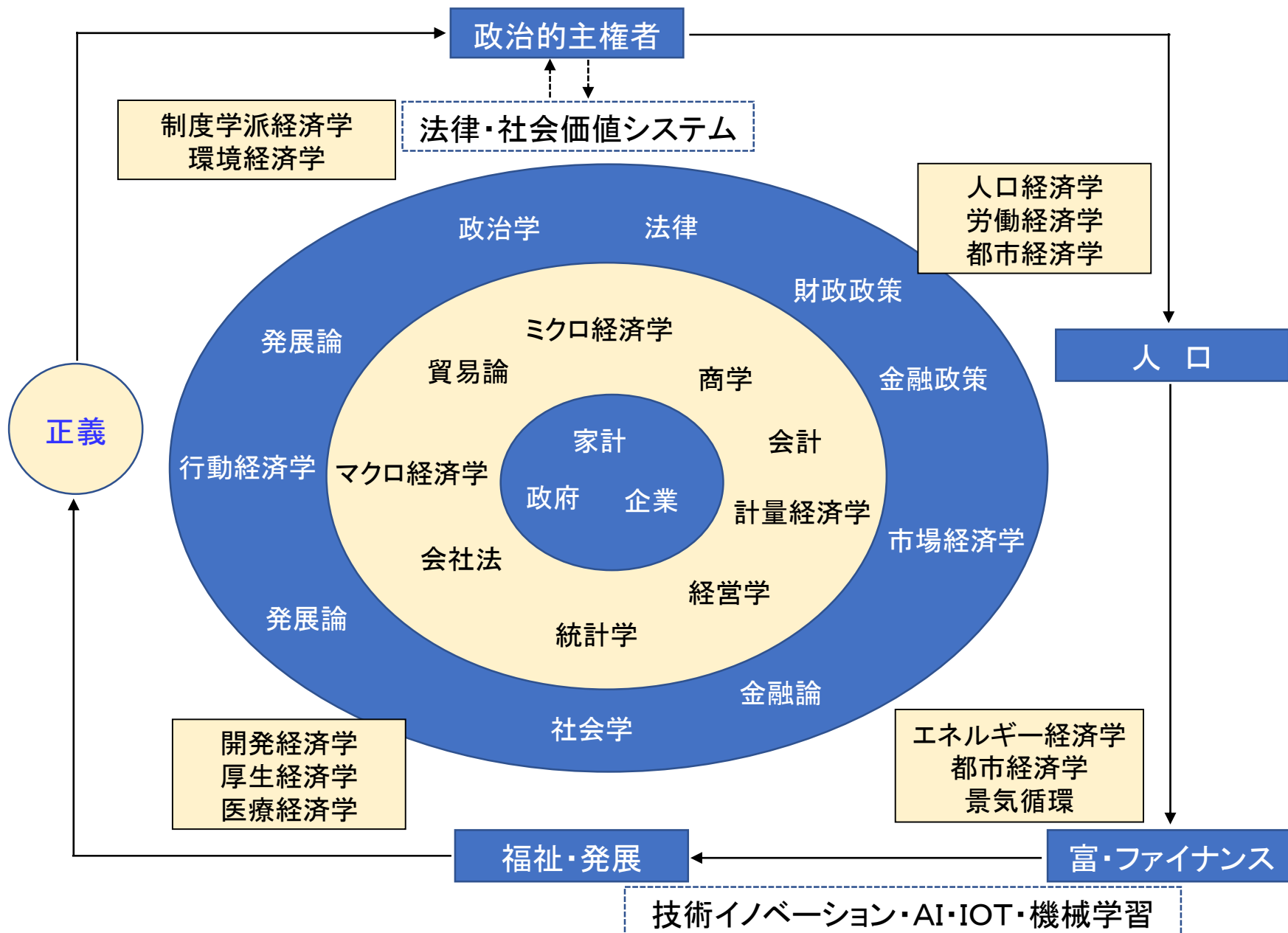
(イブンハルデューン(チュニジア出身の世界初の「社会学者」)による)

- ①主権者の正当性は、法律の実施に由来する
- ②法律は、主権者以外は実施できない
- ③主権者は、人を介してしか力を得られない
- ④人々は、富によってしか支えられない
- ⑤発展を通じてしか、富を得ることはできない
- ⑥発展は、正義を介してしか達成できない
- ⑦主権者は、正義の実現に責任を負う

2. 経済社会システム変化のダイナミクスと経済発展の条件(1) :



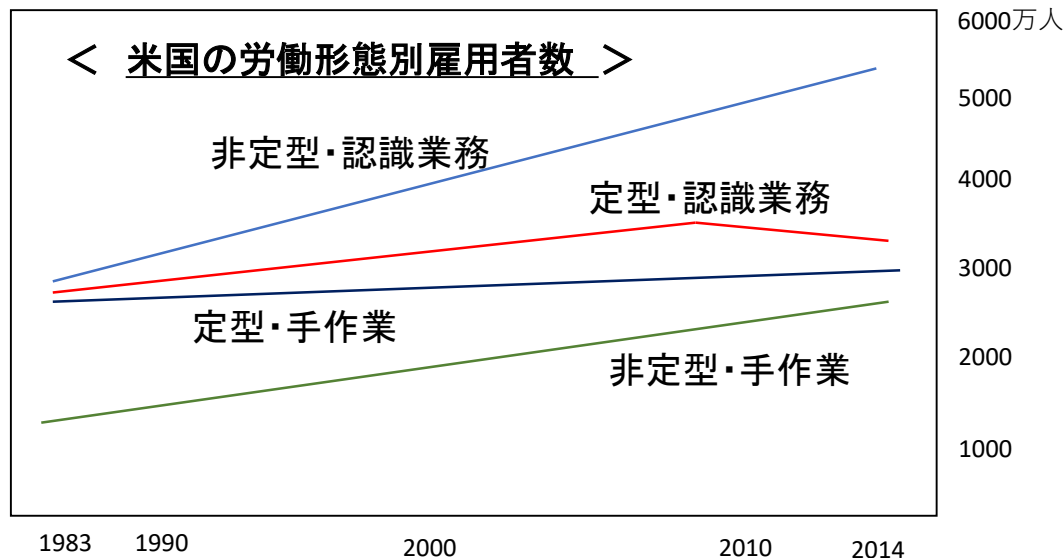
2. 経済社会システム変化のダイナミクスと経済発展の条件(2) :



3. 経済学・ファイナンスのパラダイムシフト : バランスシート不景気とリスク移転

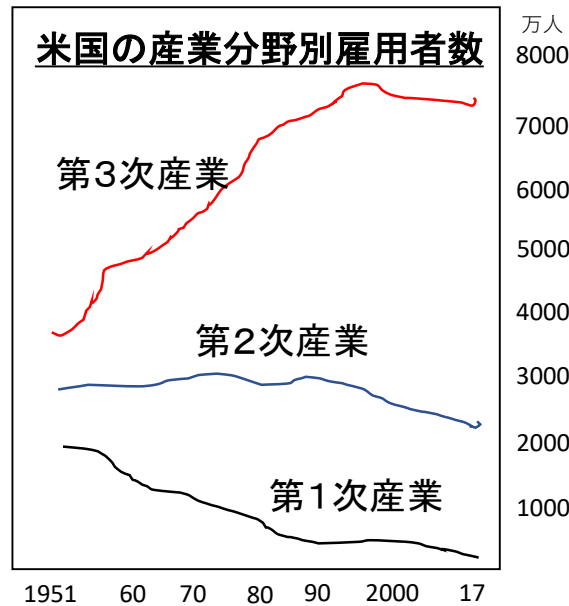
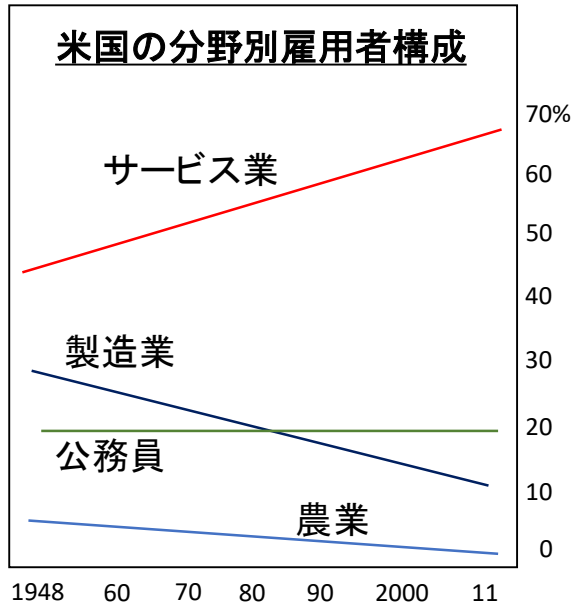
		借り手からの需要(投資家)	
		YES (教科書の世界)	NO (実際の自然の状態)
貸し手からの供給 (貯蓄家)	YES	借り手からの十分な需要 & 貸し手からの十分な供給 (通常の利息レート)	借り手からの十分な需要 < 貸し手からの十分な供給 (超低利レート)
	NO	借り手からの十分な需要 > 貸し手からの十分な供給 (政策金利より高い市場金利)	借り手からの不十分な需要 & 貸し手からの不十分な供給 (超高利レート)

4. 技術的イノベーションと技術的失業の関係と、学習戦略 :



1. すべてのオフィスの仕事は、人工知能(AI)に対して脆弱である。
2. 自動化は、襟の色を認識しない。
3. 非定型・手作業でさえ、機械は学習する。

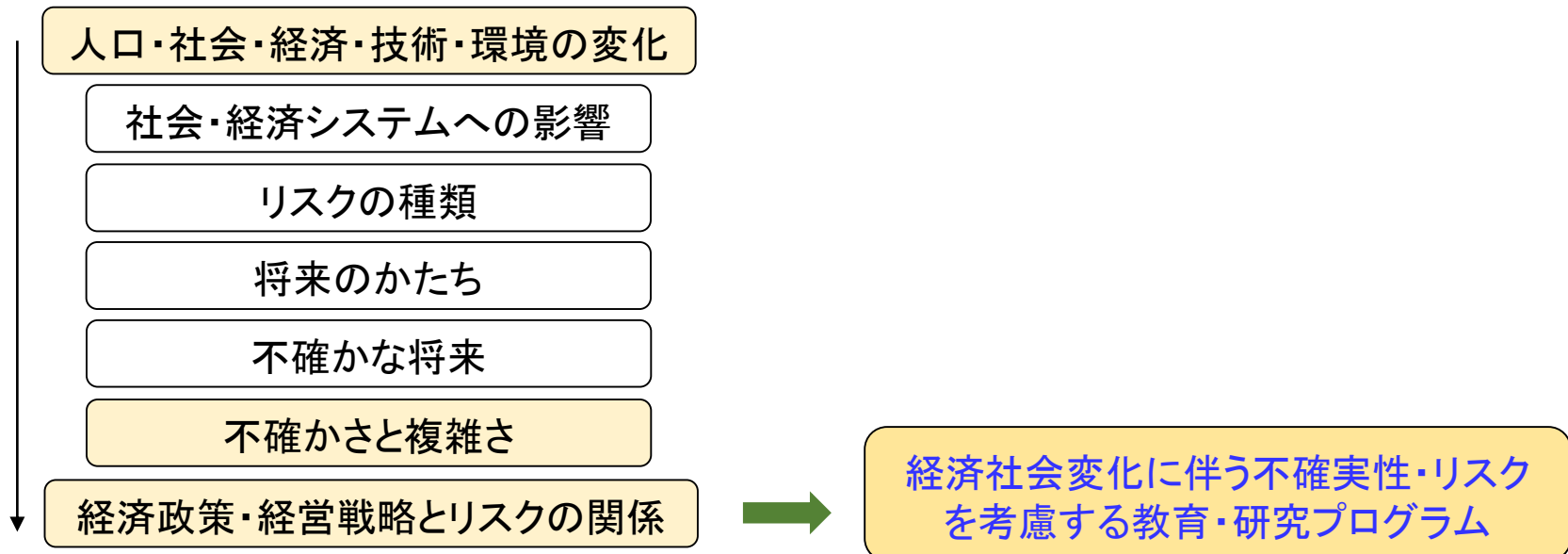
5. 学習戦略とキャリアオプション : 労働市場への自動化・人工知能・機械学習の影響



**AI化により数十年以内に
仕事なくなる確率
(2013年時点、抜粋)**

レクリエーション療法士	0.003%
歯科医	0.004
運動トレーナー	0.007
俳優	0.37
経済学者	0.43
機械工	0.65
小売販売員	0.92
会計士、監査役	0.94
電話勧誘員	0.99

6. 経済学研究科の理念 :



7. 2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)【概要】 ※抜粋 ～ 平成30年11月26日、中央教育審議会 ～

I. 2040年の展望と高等教育が目指すべき姿 …… 学修者本位の教育への転換

- ・必要とされる人材像(予測不可能な時代を生きる人材像)
 - ・普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身につけた人材
 - ・時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材

II. 教育研究体制 …… 多様性と柔軟性の確保

- ・多様な学生 …… 「18才で入学する日本人」を主な対象と想定する従来モデルからの脱却(留学生、社会人)
- ・多様な教員(実務家、女性、外国籍等) ・多様で柔軟な教育プログラム(文理横断、複数大学での人的・物的資源の共有)
- ・柔軟なガバナンス等 …… 各大学のマネジメント機能や経営力の強化と、大学等の連携・統合を円滑に進められる仕組み

III. 教育の質の保証と情報公表 …… 「学び」の質保証の再構築

- ・全学的な教学マネジメントの確立
- ・学修成果の可視化と情報公表の促進
- ・設置基準の見直し(定員管理、教育手法、施設設備等の、時代の変化や情報技術を踏まえた抜本的見直し)

IV. 18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 (あらゆる世代が学ぶ「知の基盤」)

- ・高等教育機関への進学者数とそれを踏まえた規模(教育の質を保証できない機関への厳しい評価)
- ・地域における高等教育(地方公共団体、産業界との連携のための「地域連携プラットフォーム」(仮称)の構築)
- ・国公私の役割(歴史的経緯と再整理された役割を踏まえた、地域における高等教育のあり方の再構築)

V. 各高等教育機関の役割等 …… 多様な機関による多様な教育の提供

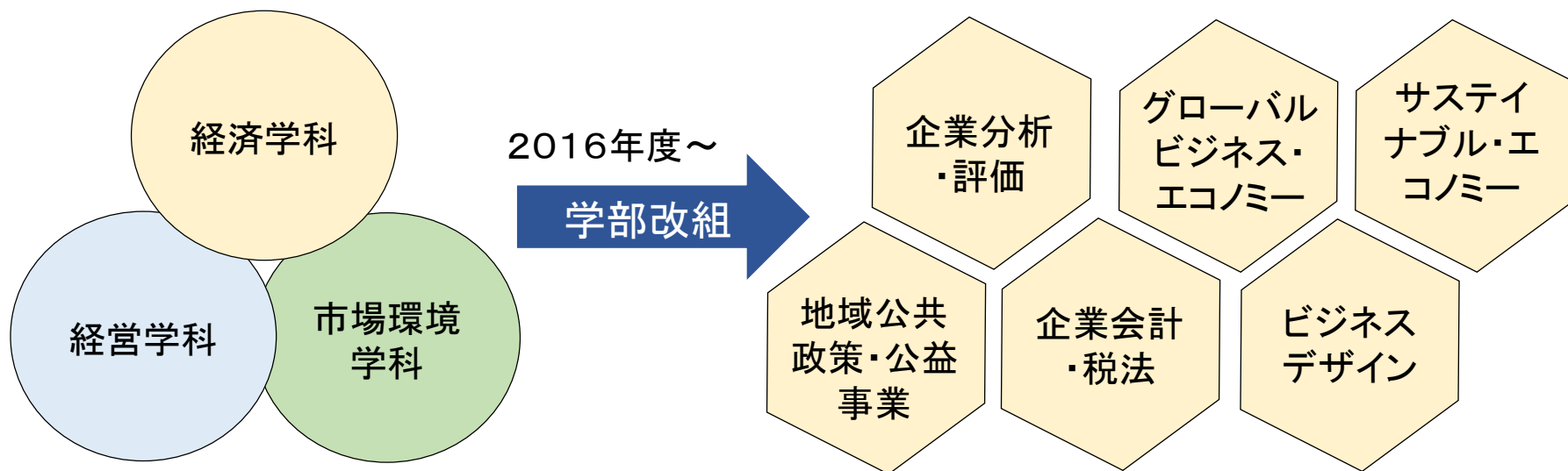
- ・各学校種における(専門学校～大学院)における特有の課題の検討
- ・転入学や編入学などの各教育機関の間の接続を含めた流動性を高め、より多様なキャリアパスを実現

VI. 高等教育を支える投資 …… コストの可視化とあらゆるセクターからの支援の拡充

- ・国力の源である高等教育には、引き続き、公的支援の充実が必要
- ・社会のあらゆるセクターが効果を楽しむことを踏まえた、民間からの投資や社会からの寄付等の支援も必要

③ 経済学部 の 役割

1. 和歌山大学経済学部の改組 …… 3学科から1学科・複数プログラムへ :



2. 社会が求める大学院・経済学研究科のあり方 :

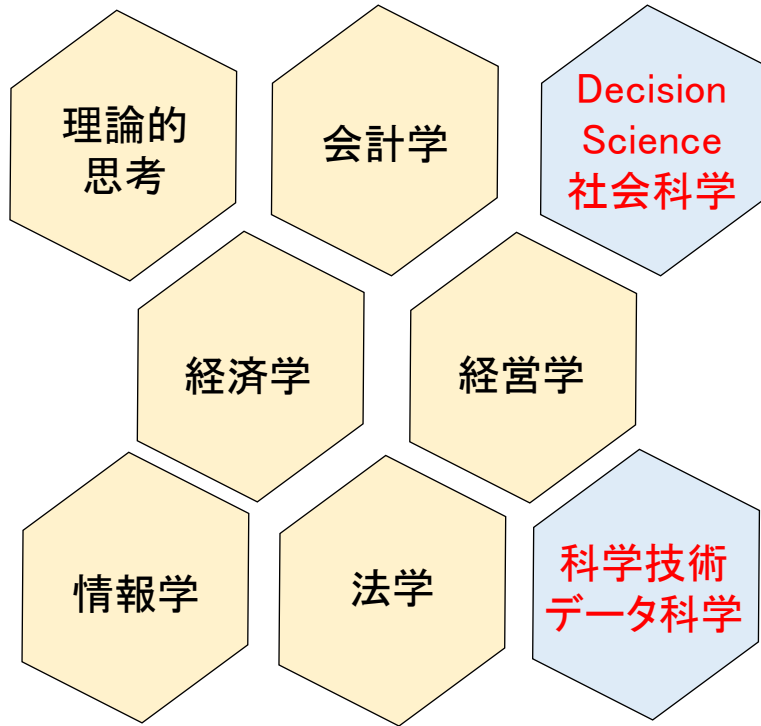
- ・学際的・学理融合的な経済社会問題解決人材の育成
- ・オープン・エデュケーション
- ・複雑化する経済社会システム変化のダイナミクスにおける研究推進

経済学
研究科

クリティカル・シンキングと分析スキル

- ・仮に、金融市場がハッキングされたとしたら…
- ・仮に、コンピューターが法律を作ったとしたら…
- ・仮に、経済が自らを改革したとしたら…

3. 大学院改組の必要性 : 変化するグローバル・地域経済のダイナミクスが仕事・教育の将来に及ぼす影響



- ・経済社会システムの変化における不確実性がもたらすリスクに対する、意思決定者とビジネスリーダー育成の必要性



- ・左図の赤字分野の教育の強化が必要

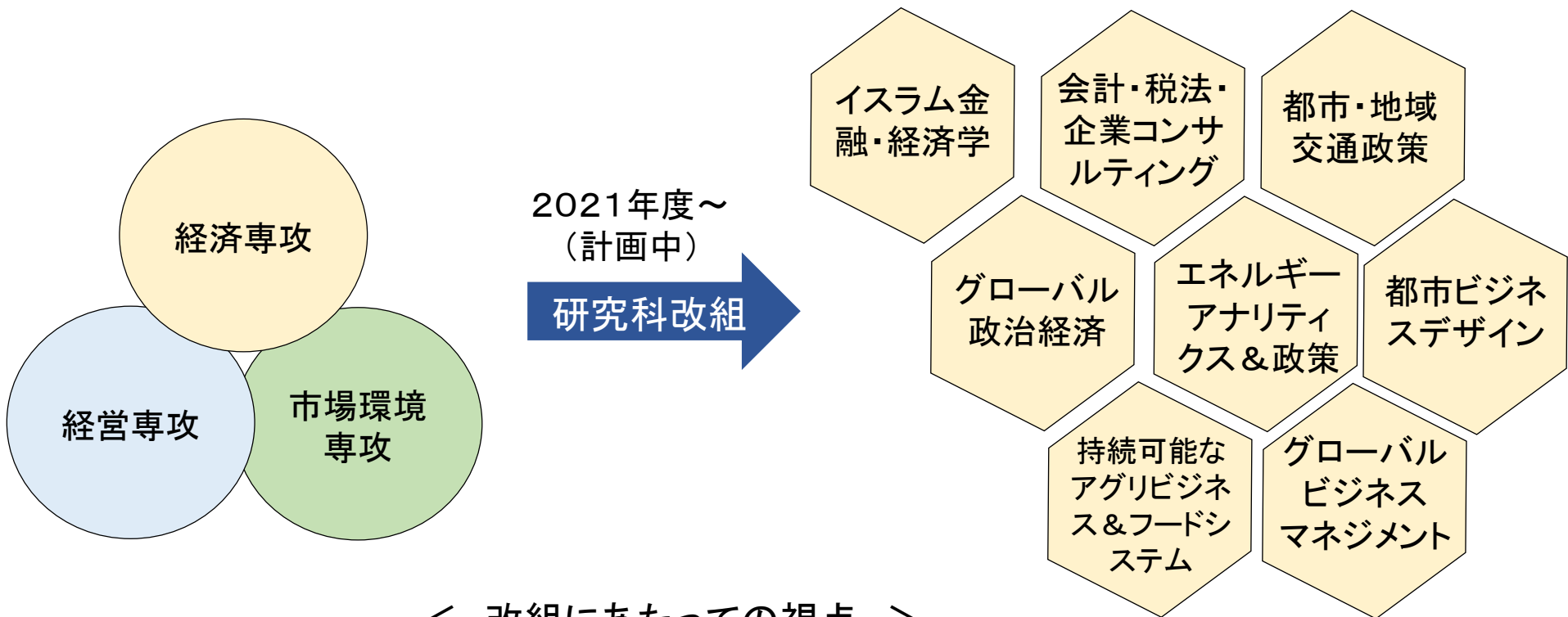
- ・Decision Science
- ・社会科学
- ・科学技術
- ・データ科学

4. 大学院改組後の研究科の教育研究プログラム(案) :

- ・都市ビジネスデザイン
- ・会計・税法コンサルティング
- ・グローバルビジネス・イノベーション
- ・都市・地域・交通政策
- ・サステイナブル・アグリビジネス
- ・イスラム金融・経済学
- ・グローバル政治経済
- ・エネルギーアナリティクスと政策
- ・リスクと社会経済政策
- ・リスクと企業戦略

5. 和歌山大学における大学院改組の方向性 :

→ 3専攻から1専攻・複数プログラムへ



< 改組にあたっての視点 >

- ① 学生の目線
- ② 文科省「2040グランドデザイン」
- ③ グローバル・地域の視点のバランス
- ④ プログラムの理想とフィージビリティの関係